

(様式 2)

女性の就農環境改善計画

実施主体名	あとう畑 Plus
取組	(2) 地域の女性グループの活動支援
構成員数	6人(うち、女性の人数:6人) (令和4年4月時点)

1 事業実施方針

当地域は、水稻を中心に準高冷地の気象条件を活かして野菜、果樹、花き等、多彩な作物が栽培されているが高齢化と担い手不足、若者の県外流出等の課題がある。また農業に従事する年配の女性 部などのグループ活動はあるが、30～50 代の女性農家が集まる機会が少ない。働き盛りの女性目 線で自分達の生産する規格外野菜を使った加工品のブランディングから販売までを行うことで、食品ロスを減らし、廃棄していた規格外を有効活用することで収益増に繋げ、安定した農業経営を行い、新規就農希望者や担い手を確保する。

また、メンバー同士の交流が増え、女性農家の受け皿となり情報交換や相談できる場をつくることで、既存女性農家の農業継続ややりがいの向上に繋げる。そして、加工品の販売を通じて、自分達の活動も発信することで、次世代育成を意識した柔軟で持続可能な団体運営を行う。

(注) 具体的に記載してください。

2 女性就農環境改善に向けた実施体制

2021年9月に結成し、現在上記6名の女性農業従事者で6次産業化に向けた加工品の施策に取り組んでいる。農業従事の仕方は、専業農家、兼業農家、自家野菜をつかった飲食店・加工品経営など様々である。それぞれの生産物やアイデアを持ち寄り、隣町の農産加工場を借りて試作品開発を行なっている。毎月1回集まり定例会議を行い、試作品企画やアイデア、相談などはメッセージアプリ LINE で都度情報共有を行なっている。また、山口県山口農林水産事務所に相談をしたり、山口県産業技術センターで細菌検査を行い、規格外野菜の利活用というだけでなく、安心安全な商品づくりに取り組んでいる。

(注) 応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第4の(1)の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について5名以上の農業者(女性1名以上を含む)の氏名を記載してください。

3 女性就農環境改善のため実施している取組及び今後の取組

(1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組) 1)当団体の組織基盤構築 2)他機関とのネットワーク構築	月1回リアル及びLINE グループトークにて実施 月1回	
(今後の取り組み) 1)新規女性農業者の確保 2)新規女性農業者と共に農業研修	女性2名(目標) 女性2名(目標)	

(注) 「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組) 1)定例会議の開催(新メンバーや新規就農者を呼び込む施策や地域内の農業従事者他団体とのネットワーク構築に向けた話し合い) 2)当団体が新規就農者の受け皿となる組織づくり(地元先輩女性グループ等への視察研修)	1)月1回 2)6回実施	2021年～ 2021年～
(今後の取組) 1)定例会議の継続開催 2)視察・研修の実施(地域内外) 3)規格外野菜を用いた新商品開発 4)テストマーケティングおよび当団体の活動PRのためのマルシェ参加	1)毎月実施(目標) 2)年間10回程度(目標) 3)2023年2月までに5品目(目標) 4)4回(目標)	2022年度

(注) 「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(3) 女性就農環境改善に向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組み) 1)女性農業者の交流の場、組織づくり 2)それぞれの園にて栽培している農産物を利用した加工品の開発品目の検討	1)メンバーが働きやすい環境を作る 2)加工品 5 品目を完成させる	
(今後の取組み) 1)加工品 5 品目の商品開発 2)加工品のブランディング、商品設計 3)マルシェに参加 4)加工品の販売先の確保 5)先進先輩女性農業従事者の方々との意見交換会	1、2)販売可能な加工品を 5 品目完成させる 3)マルシェに 4 回参加 4)販売先を 5 か所以上確保する 5)持続可能な組織設計を	

(注) 農業委員等に選出された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

4 女性の就農環境改善対策事業を活用した取組の計画内容

(1) 働きやすい環境整備への支援

【計画内容】

時期	内容 (対象者・方法等)	備考

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第4の(1)の事業の応募者は、確保する施設等について5名以上の女性の利用者がいることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 地域の女性グループの活動支援

【課題】 ※簡潔にご記入ください。※課題番号は必要に応じて追加・削除ください。

①	自分達が生産する野菜の規格外が生産量の 20%程度発生しているが、商品化できていない。
②	ブランディング・マーケティングの知識不足
③	商品力が弱い


【課題解決のための補助事業（概要）】※課題番号に対応するように記入ください。

①	規格外を活用した新商品開発のための試作、食品検査の実施
②	先進地への視察研修、テストマーケティングのためのマルシェ出店
③	デザイナーによるパッケージ、チラシ制作委託

【事業成果と今後のプラン】

※課題番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品計画については、翌年度以降の販売事業計画をご記入ください。

①	2022 年度末までに、規格外野菜を活用した 6 次産業化商品 5 品目を完成させる。年間売上総利益 20 万円を目指す。
②	地域一体でブランディングに成功している先進地にてマーケティングや商品企画を学ぶ。開発した商品のテストマーケティング 4 回実施、マルシェ来客者数 4 回×100 人
③	顧客ターゲットに合わせたパッケージやチラシを制作し、それを用いた試作品をマルシェ等にてテストマーケティングを実施。商品価値の高い商品を完成させる。

【事業内容（詳細）】

課題番号	時期	グループ活動内容（対象者・方法等）	事業実施経費（費目、金額）	備考
①	2022 年度	対象者：グループメンバー全員 6 次化へ向けての規格外野菜の新商品試作、開発、食品検査。	消耗品 111,408 円 役務費 80,600 円 使用料 122,728 円	
②	2022 年 6 月 11 月	対象者：グループメンバー全員 島根県出雲市への視察 山口県産業技術センター担当者による研修	旅費 11,904 円 謝金 4,546 円 謝金 4,546 円	謝金規程、自家用車利用によるガソリン代積算資料に

				基づき算出
②	2022年5月 ～（年4 回）	対象者：グループメンバー全員 マルシェ出店	消耗品 38,468 円 印刷製本費 25,000 円	
③	2022年5月 ～完成都度	6次産業化商品5品目完成ごとに、 デザイナーにパッケージデザイン委 託	役務費 100,000 円	

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

#### 5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	5 人
(新規確保女性農業者の内訳)	
自営農業就業者 1人、雇用就農者 1人、アルバイト・ボランティア等 3人	

(注) 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者(結婚を機に就農された方含む)、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等を含む農業関連事業従事年間30日以上の方とします。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。